

2022年6月11日

関東・関西・九州ラグビーフットボール協会

理事長 各位

都道府県ラグビーフットボール協会

理事長 各位

## 競技規則の条文改正 (通達)

### 【競技運営】

(公財)日本ラグビーフットボール協会

(承認済み・押印省略)

専務理事

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通り条文改正に関する通達が出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても、加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

先般開催されたワールドラグビー理事会にて、以下の競技規則の条文改正、および、世界的試験実施ルールが承認された：

#### 競技規則の改正

(a) 競技規則 18.8 (a)

世界的試験実施ルールの「50:22」を正式に競技規則化する

(b) 競技規則第 12 条、および、21.3

ゴールラインドロップアウトの世界的試験実施ルールを正式に競技規則化する

(c) 競技規則 9.22

フライングウェッジに対する制裁を正式に競技規則化する

(d) 競技規則 9.20

ジャッカラーの安全に関する世界的試験実施ルールを正式に競技規則化する

- (e) 単独のプレーヤーによるラッチングに関する競技規則をファーストアライビングプレーヤーのものに従って適用する
  - (f) 競技規則の明確化および軽微な変更を正式に競技規則化する
  - (g) 競技規則の適用ガイドラインによって、サイドエントリーの違反により徹底的な焦点をあてるものとする
- ※ (f)および(g)の詳細については、添付を参照。

改正施行日： 2022年7月1日

2022年7月1日以前に始まっている大会については、当該大会が終了するまで、そのまま現行の競技規則のもとで行ってよい。

### 世界的試験実施ルール

- (a) ブレーキフットの世界的試験実施ルールを採用する
  - (b) メディカル、テクニカルゾーン、および、ウォーターキャリアーのプロトコルを改正し、世界的試験実施ルールとする
  - (c) TMO プロトコルを改正し、世界的試験実施ルールとして採用する
- ※ (a)および(b)の詳細については、添付を参照。

実施開始日： 2022年7月1日

2022年7月1日以前に始まっている大会については、当該大会が終了するまで、そのまま現行の競技規則のもとで行ってよい。

なお、該当する競技規則の参照条項については、2022年7月1日より、ワールドラグビーの競技規則のウェブサイト上にて参照可能となる予定です（英語・日本語）：

<https://www.world.rugby/the-game/laws/home>

（英語で表示された場合、ページ右上のプルダウンメニューで日本語を選択できます）

以上

※本件についてのお問い合わせ先

公財) 日本ラグビーフットボール協会

ハイパフォーマンス部門 競技規則担当 ([referee@rugby-japan.or.jp](mailto:referee@rugby-japan.or.jp))